



## ■ 林野火災注意報・警報制度について

林野火災とは、山や草地で発生する火災で、たき火や野焼き、火の不始末など身近な原因から起こり、乾燥や強風により急速に拡大し大きな被害につながる恐れがあります。

近年も全国各地で大規模火災が発生しており、先日、根室市で原野火災、池田町で林野火災が発生するなど、春先は特に注意が必要です。

昨年2月に発生した岩手県大船渡市の火災をきっかけに、「林野火災注意報」と「林野火災警報」が創設され、危険度に応じて火の使用への注意や制限を呼びかけています。

火災を防ぐには、火の取り扱いに十分注意し、使用後は完全に消火するなど、基本的な行動を徹底することが重要です。

**林野火災注意報・警報って、なんだべ？**  
— りんご爺から学ぶ新しいきまり —

最近、風が強く空気が乾いた日に大規模な林野火災が増えるべ。そこで国は、『林野火災注意報』と『林野火災警報』を作ったんだわ。

**林野火災注意報**

今日は特に火の扱いには気をつけてくれな～

- ・乾燥などで火災が起きやすい日に市町村長などが発令
- ・火の使用はより慎重に
- ・罰則はなし

**林野火災警報**

こりゃ危ねえ！今日は火い使っちゃだめだべ！！

- ・乾燥+強風などで火災リスクがかなり高い日に市町村長が発令
- ・火の使用は禁止！
- ・罰則が適用される場合あり

林野の火災は人が起こすことが多いんだわ。

～道民のみなさんへのお願～

- ・火を使ったら、最後まで確認
- ・風の強い日は、火を使わない
- ・火事だと思ったらすぐに119番

りんご爺(本名:森山 林護)  
北海道在住・68歳  
林野火災予防啓発キャラクター

みんなの気をつけて、森や自然を守るべさ



北海道

北海道総務部危機対策局危機対策課  
消防係 TEL 011-204-5009 somu.shobo@pref.hokkaido.lg.jp

北海道内の  
発令状況はこちら



## ■ 「これからの「災害から地域を守る」を考える」の開催

2025年の北海道では、道北、胆振地域、道東地域などで、“観測史上1位”といわれるような記録的な大雨が発生し、道東では、北海道で初めて“線状降水帯”が発生しました。

北海道気候変動適応センターでは、講演とワークショップ、グループディスカッションを通じ、“もしも”のために、私たちができることを考えるセミナーを開催しますので、是非ご参加ください。

### 《開催概要》

- 日時 令和8年4月30日（木） 13時30分～16時45分
- 会場 EZO HUB SAPPORO HIGUMA HALL  
(札幌市東区北8条東4丁目1-20 サツドラ本社2階)
- 参加料 無料
- 内容 ① (講座) これからの北海道の大雨を考えよう  
(地独) 北海道立総合研究機構 エネルギー・環境・地質研究所  
研究職員 大屋 祐太  
② (ワークショップ) カードゲーム型防災研修プログラム 風水害24 体験  
北海道地球温暖化防止活動推進員 松江 佳月  
③ (講座) 風水害は救える命  
(株) YAKUSHO 代表取締役 川内 佑紀
- 参加申込 QRコードの申込みフォームよりお申し込みください。



“もしも”を体験し、“学び”と“つながり”をひろげる日。

## これからの 「災害から地域を守る」を考える

対象：北海道地球温暖化防止活動推進員 / 環境・防災の普及啓発に関心のある方

環境・防災分野に係る行政職員

4月30日 13:30-16:45 (予定)  
開場：13:00  
EZO HUB SAPPORO HIGUMA HALL  
(札幌市東区北8条東4丁目1-20 サツドラ本社2階)

定員  
30名

### 講座

#### これからの 北海道の大雨を考えよう

講師  
大屋 祐太 さん  
(地独) 北海道立総合研究機構  
エネルギー・環境・地質研究所研究職員

過去の風水害を振り返り、気候変動による  
将来の大雨リスクを解説。「北海道で線状降  
水帯はこれからも発生する？」という疑問にも、  
科学的知見からわかりやすくお答えします。

### ワークショップ

#### カードゲーム型防災研修プログラム 風水害24 体験

ファシリテーター  
松江 佳月 さん  
北海道地球温暖化防止活動推進員

実際に起きた大規模風水害をモデルに開発された  
ゲームを通じ “災害が発生したら…”を疑似体  
験することで、混乱のなか、どんな判断や行動が求  
められるのか、学び取ります。

### 講座

#### 風水害は救える命

講師  
川内 佑紀 さん  
(株) YAKUSHO 代表取締役

“災害に強いまちづくり”に取り組む川内さんのお話から、被災現場の実情を知り、“もしも”のために、いまからできる備えについて学びます。

### グループディスカッション

感じたこと、課題、悩み、アイデアなどを、参加者間で共有しあいます。

お申し込みはコチラ

